

きのかわ支援学校第Ⅰ回学校運営協議会

- 1 日時 令和6年6月18日(火) 10時00分~11時30分
- 2 場所 きのかわ支援学校 会議室
- 3 参加者 きのかわ支援学校 学校運営協議会委員 8名
- 4 協議・報告の内容

〈今年度の方向性について〉

学校長より、令和6年度学校評価に関する重点目標と併せて、1学期の目標として取り組みを進める①あいさつ、②丁寧な言葉遣い、③呼称(〇〇さん)についても、授業の中で取り組みを進めていくことについて説明を行いました。委員の皆様からは、特別支援学校のセンター機能の充実や特別支援教育の教員の専門性の向上、教育活動の中での販売活動の促進等について、計画等を踏まえ、取組を進めてほしいとの意見をいただきました。

また、「つきたい力を基にしたわかる授業づくり」を進めるための今年度の取組について、小学部の生活科、中学部の職業・家庭科、高等部の作業学習を中心に、各学部主事より報告を行いました。「単元配列表」の活用や「つきたい力」と各教科の単元との関連を図る取組と併せ、今年度より高等部においてスタートした伊都中央高等学校との共同学習について、生徒が作成したプレゼンを基に取組について説明を行いました。

〈各委員より〉

- ・児童生徒の各段階に応じて、丁寧な取組を進めていただきたい。
- ・企業においても社員同士の呼び方なども気を付ける必要がある。呼名(「〇〇さん」)については、組織的に進めていただきたい。
- ・各学部の目標と取組、分析や指標については説明いただいた。今後の実践につなげていっていただきたい。
- ・児童生徒が社会で働く上で、プレゼンソフトだけでなく、文書作成ソフト等を実際に使用することも、大切である。
- ・挨拶、みだしなみ、思いやり、感謝など、当たり前のことを当たり前にできるようになることは大切である。社会へ出た後も、児童生徒が校内での取組を振り返ることができればと思う。
- ・高等部において、週当たりの作業学習の時間が多く、教科においては時間が少ないものがある。各教科等と作業学習をどのように関連させて進めているのか等(例えば POP 作りと美術の取組を関連させる等)、横のつながりについても報告いただきたい。
- ・高等学校とともに地域における取組をどれだけ増やせるか、地域とどれだけコラボして裾野を広げられるかが重要である。
- ・高野口にきのかわ支援学校があることが、高野口の誇りになるように、共同して街づくりを行うことができればと思う。
- ・製品作りにおいては、地元を生かしたおもしろさ等を生徒にも感じてほしい。

